

ブルックフィールド、日本の集合住宅 50 物件で構成されるポートフォリオを取得

本年最大級の取引を通じて、日本のマルチファミリー市場に参入

ニューヨーク、東京 – 2026 年 8 月 17 日 – 世界有数の投資会社ブルックフィールドは、本日、不動産戦略を通じて、日本の主要ゲートウェイ都市に所在する集合住宅資産 50 件から成るポートフォリオを取得したと発表しました。

このポートフォリオは、日本の 4 大都市圏である首都圏、大阪圏、名古屋、福岡に所在する約 3,700 戸の住戸で構成されています。本取引は、日本における今年の集合住宅資産取得案件として最大級の案件となる見込みで、ブルックフィールドが広範なグローバル専門知識と強い実績を有するセクターにおいて、直ちに十分な事業規模を確立するものです。

ブルックフィールドの日本不動産責任者である土田育新は、次のように述べています。「マルチファミリーは、長期的な都市化、底堅い住宅需要、そして新規供給の制約を背景に、日本において最も魅力的な不動産セクターの一つです。私たちは、長期投資戦略に合致する高品質なポートフォリオを通じて、同セクターにおけるブルックフィールドの存在感を日本で確立できることを嬉しく思います。ブルックフィールドは、グローバルで培った専門性を活かしながら、日本におけるポートフォリオの拡大を進めるとともに、居住者に高品質な住環境を提供するための基盤を有しています」

平均築年数が 4 年未満の同ポートフォリオは、交通アクセスに優れた好立地に位置する、近年完成した集合住宅を中心に構成されています。資産の稼働率は約 96%で、日本の 4 大都市圏にまたがって分散しており、国内の主要経済拠点における底堅い住宅需要へのエクスポージャーを提供します。

ブルックフィールドは、北米、欧州、豪州において、マルチファミリーおよび広義の住宅セクター資産の保有・運営において豊富な経験を有しており、質の高い住宅コミュニティの維持、物件運営の高度化、そして積極的な資産の保有・運営を通じた長期的価値創出に重点を置く、ハンズオン型のアセットマネジメントを実践しています。

以上

お問い合わせ先

キャサリン・ウッズ：E catherine.woods@brookfield.com | M +61 477 320 333

グレース・マッカーシー：E grace.mccarthy@brookfield.com | M +61 408 854 518

スタンレー・ホワイ特：E stanley.white@cdrconsultancy.com | M +81 (0)80 4890 8081

ブルックフィールド・アセット・マネジメントについて

ブルックフィールド・アセット・マネジメント・リミテッド（NYSE: BAM、TSX: BAM）は、ニューヨークに本社を置く世界有数のオルタナティブ資産運用会社であり、運用資産額は 1 兆ドル超にのびります。エネルギー、インフラストラクチャー、不動産、プライベート・エクイティ、クレジットを中心に、実物資産や不可欠なサービス事業に焦点を当て、長期的な視点から顧客資本を運用しています。公的・私的年金基金、大学基金や財団、政府系ファンド、金融機関、保険会社、プライベートウェルス投資家などが含む世界中の投資家に、幅広いオルタナティブ投資商品を提供しています。ブルックフィールドのオーナー兼オペレーターとして培ってきた知見を生かし、経済サイクルを通じて価値創出を追求するとともに、お客様に優れたリターンを提供することを目指しています。詳細は、当社ウェブサイト www.brookfield.com をご覧ください。